



2024年8月30日

各 位

会 社 名 フルサト・マルカホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 古里 龍平  
(コード：7128 東証プライム)  
問合せ先 執行役員 管理本部 本部長 藤井 武嗣  
(TEL. 06-6946-1600)

## 二条城本格修理事業（本丸御殿）における 当社グループ企業取扱製品「コラムカプラ」採用に関するお知らせ

当社のグループ企業であるフルサト工業株式会社（大阪市、代表取締役社長 古里 龍平）では、国の重要文化財に指定されている「二条城本丸御殿」（京都市）の修理事業において、同企業が販売する「コラムカプラ」が採用され、この度工事が完了し一般公開される運びとなりましたのでお知らせいたします。

### 記

京都市では、二条城の文化財としての価値を守り、文化観光施設として観覧者の安心・安全を確保することを目的に、耐震補強を含む本格的な修理・活用整備を進めています。対象事業の一つである「本丸御殿」では、阪神淡路大震災により被災し、その後応急的な補強を施してきましたが、耐震性の問題を理由に2007年より公開を休止していました。

フルサト工業株式会社は、主に建設資材を販売する企業であり、様々な建設現場に鉄骨資材等を提供しています。また、建設現場での省人省力化向け建設資材の開発・販売にも注力しており、その中でも「コラムカプラ」は、溶接作業が不要な柱継手の資材として、火気厳禁の現場等で使用されてきました。

二条城本丸御殿では、2017年から保存修理工事が開始しましたが、国の重要文化財であることから、作業時に火気厳禁であること、また重機が現場まで進入できないという条件が発生しました。そこで、現場溶接作業が不要であり、火花飛散も避けることができ、人力で鉄骨組み立て作業が可能な「コラムカプラ」の特徴が耐震補強工事において最適であるとの理由から、この度「コラムカプラ」と「150角ボルト式十字形柱継手」が採用される経緯となりました。

当社グループでは、経営理念のVISIONに「『叶えたい』が、あふれる社会へ。」を掲げております。今後も、グループ企業が取り扱う製品の納入や技術提供を通して、建設業界はじめ社会全体の課題解決に貢献してまいります。修理事業が完了した二条城「本丸御殿」は、2024年9月1日（日）に一般公開される予定です。

以上

【竣工写真】

(本丸御殿 外観)



(鉄骨補強の様子)



(継手部分拡大、左及び中央が 150 角ボルト式十字形柱継手、右が 200 角コラムカップラ)



【製品紹介：コラムカップラ】(フルサト工業株式会社)

<http://www.furusato.co.jp/materials/steelhardware/columncoupler>